



証券コード 2908

第57期 中間報告書

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで

おいしいね!

フジッコ





代表取締役社長 **福井 ふみひろ**

平成29年3月期第2四半期(連結)

売上高

292億76百万円
(前年同期比 2.4%増) ↑

営業利益

24億13百万円
(前年同期比 1.2%増) ↑

経常利益

26億24百万円
(前年同期比 1.6%増) ↑

親会社株主に帰属する四半期純利益

16億78百万円
(前年同期比 15.9%減) ↓

研鑽を重ね、新たな発展の基盤を固めます。

■ 当期の事業環境

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀の経済・金融政策を背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、一方で、新興国経済の減速や英国のEU離脱決定が世界経済に与える影響の懸念など、景気の先行き不透明感は一層強まり、個人消費の回復には弱さが見られました。

食品業界においては、消費者の根強い節約志向や価格競争の激化とともに、北海道をはじめ、今夏の相次ぐ台風上陸が原料関係に大きな影響を与えることが予想されるなど、引き続き厳しい経営環境となりました。

■ 当期の取り組みと業績

このような環境の中、当グループにおいては、中期経営戦略に基づき、ヨーグルト事業とOKAZU事業の拡大に注力するとともに、全社的なコストダウン活動に取り組みました。

売上高は、昆布製品が前年実績をわずかに下回りましたが、惣菜製品、ヨーグルト製品、豆製品、デザート製品が伸長したことから、292億76百万円(前年同期比2.4%増)となりました。

利益面では、営業利益は24億13百万円(前年同期比1.2%増)、経常利益は26億24百万円(前年同期比1.6%増)となりましたが、前第2四半期連結累計期間には投資有価証券売却益を特別利益として計上していたため、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は16億78百万円(前年同期比15.9%減)と前年実績には及びませんでした。

■ 通期の見通しとビジョン

今後の国内景気につきましては、個人消費の回復に弱さが見られるものの、緩やかな回復傾向が続くものと思われれます。

当グループにおきましては、中期経営計画のスタート年である当期の売上及び利益計画の達成に注力し、フジッコ NEXT VISION 2025「顧客に愛されるフードカンパニー」を目指してまいります。

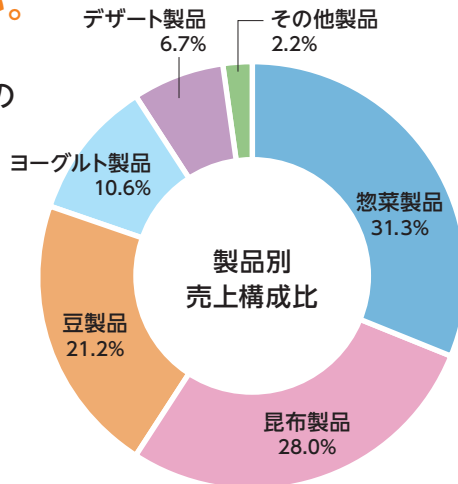
株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月



Q. 事業の全体像を教えてください。

A. 成長品群である惣菜製品、ヨーグルト製品の構成比が高まっています。



惣菜製品

売上高 **91億63百万円** (2.9%増) ↑



昆布製品

売上高 **81億88百万円** (0.4%減) ↓



豆製品

売上高 **61億96百万円** (2.6%増) ↑



ヨーグルト製品

売上高 **31億8百万円** (7.2%増) ↑



デザート製品

売上高 **19億76百万円** (7.3%増) ↑



※上記数値は平成29年3月期第2四半期(連結)です。
 ※カッコ内の数値の増減率は前年同期比です。





Q. 新中期経営計画の事業戦略について教えてください。

A. “選択と集中” で高成長・高収益性の事業形成を目指します。

当期よりスタートした新中期経営計画の経営戦略に基づき、前中期経営計画から踏襲したポートフォリオ・マネジメントを徹底し、“選択と集中”により更なる高成長・高収益性の事業形成を目指してまいります。

中期ポートフォリオ・マネジメント





Q. 成長事業の取り組みについて教えてください。

A. “健康”を軸に、成長を更に加速させていきます。

「朝のたべるスープ」で“朝の温活”をご提案

“朝の温活”とは、温かくて栄養バランスのとれた朝食をしっかり摂ることで、腸を温め、一日を健康に過ごそうという活動です。

フジッコでは、忙しい朝にレンジで簡単に温められ、手軽においしく豆や野菜を摂れるスープとして、働く主婦をはじめ、学生やシニア層など幅広い年代にご支持いただいている「朝のたべるスープ」シリーズを“朝の温活”PRで拡販していきます。11月7日を「腸温活の日」(日本記念日協会登録)として制定したほか、TVCMやWEB、イベント等で盛り上げていきます。



▲ 朝のたべるスープTVCM「二度寝編」

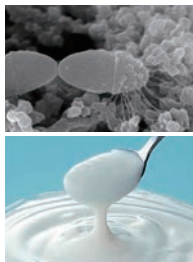
◀ 新発売の「さつまいものチャウダー」

「カスピ海ヨーグルト」のマルチチャネル戦略

ヨーグルト事業は、2002年の種菌頒布に始まり、通信販売でサプリメント「善玉菌のチカラ」、量販店等で固形の「カスピ海ヨーグルト」を販売し、百貨店では直営店「Caspia」を展開しています。健康エビデンス研究の推進の下、それぞれのチャネルに最適化した戦略を遂行してまいります。

マルチチャネル戦略の概念図

健康エビデンス研究



乳酸菌

粘り成分

チャネル別戦略



チャネル展開

通信販売



乳酸菌サプリNo.1へ

量販店



新サブカテゴリーへ

百貨店



ヨーグルトライフ提案へ



個人投資家向けセミナーの開催

8月21日、「個人投資家向けのIRフォーラム 2016 summer」に参加し、フジッコ代表取締役社長の福井正一より「フジッコ、ネクスト・ステージへ!!」と題して事業の内容や新中期経営計画などについてご説明しました。

また、当日は展示ブースで情報提供や商品紹介を行い、会社や商品について知っていただく良い機会となりました。

同様のセミナーを大阪・神戸でも開催し、それぞれ多くの投資家様にご来場いただきました。



▲ セミナーの様子



▲ 投資家様との対話

“ファン株主サイト”をオープンしました!

フジッコを応援してくださる全ての皆様へ向けて、当社のことをより良くご理解していただけるよう、“ファン株主サイト”をオープンしました。随時有用な情報を掲載してまいりますので、ぜひご覧ください!



フジッコ IR

検索

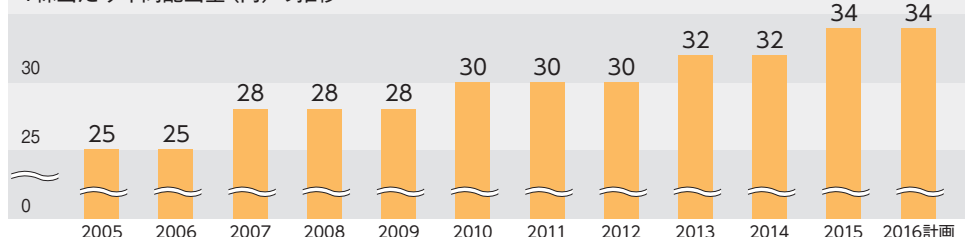
<http://www.fujicco.co.jp/corp/ir/>

配当方針

剰余金の配当は中間配当及び期末配当の年2回を基本方針としております。

収益性の向上と財務体質の強化に努め、着実な業績の向上により、安定配当を行ってまいります。

1株当たり年間配当金(円)の推移



「食育DAY」の開催

フジッコでは、毎年食育月間に、「食育DAY」と題しお客様や従業員を対象としたイベントを開催しています。8月25日に開催した第7回「食育DAY」では、テレビでもおなじみの小林弘幸氏（順天堂大学医学部教授）による腸と自律神経に関する基調講演をはじめ、本多京子氏（医学博士・管理栄養士）によるシニア向けの料理教室や「菌活時代到来！Wパワーで腸美人」と題したパネルディスカッション等を行っていただきました。



▲ シニア向け料理教室



▲ 小林氏によるストレッチ体験

丹波篠山親子黒豆作付け体験

毎年、6月の作付け、10月下旬の収穫、12月のフジッコ本社でのおせち料理教室と、おせちには欠かせない“黒豆”が畑で育ち、収穫され、食卓に並ぶまでの一連の流れを体験していただく食育プログラムを実施しています。今年で8回目となりますが、毎年多くのご応募をいただく大人気イベントです。



▲ 作付けの様子



▲ 収穫体験

ネパール大地震の被災者支援

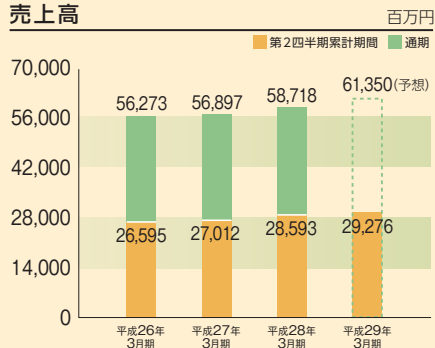
昨年4月25日に発生したネパール大地震では、犠牲者9,000名、負傷者2万名以上と、甚大な被害となりました。

以前より、フジッコではヨード欠乏症の根絶を目指して活動されているあつた ちかよし熱田親憲氏の「ネパール・ヨードを支える会」に対して、“昆布ミネラルカプセル”の無償提供で応援してきた経緯がありました。被災された方々の健康にお役に立てればという思いから、発生直後より、支援物資として被災地で不足しがちなたんぱく質や食物繊維が豊富な「煎り黒豆」を提供しており、今回2回目の実施となりました。

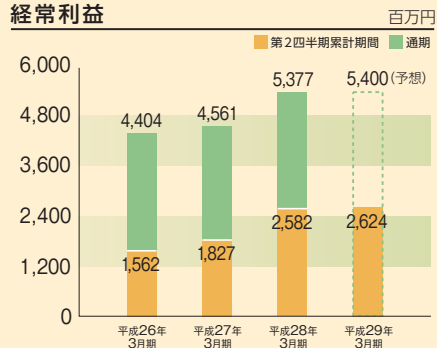


▲ シンドウパールチョコク郡の子供たち

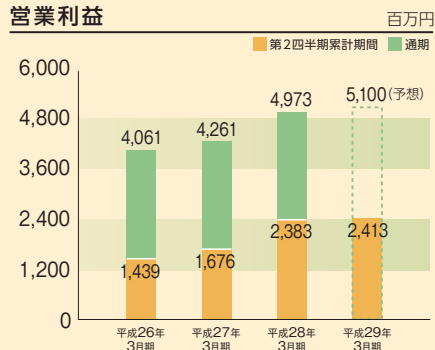
売上高



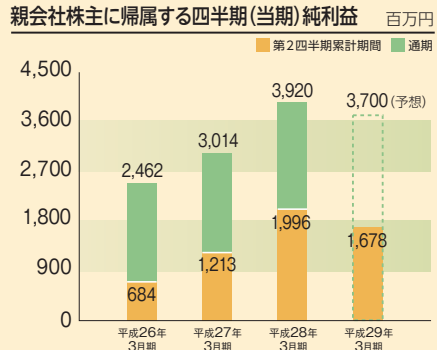
経常利益



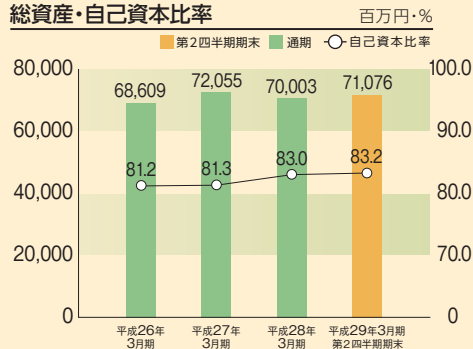
営業利益



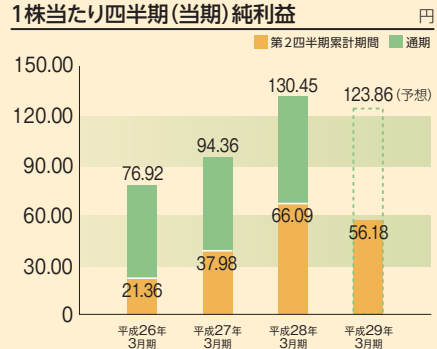
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



総資産・自己資本比率



1株当たり四半期(当期)純利益



四半期連結貸借対照表 (単位:百万円)

科 目	前第2四半期 (平成27年 9月30日現在)	当第2四半期 (平成28年 9月30日現在)	前 期 (平成28年 3月31日現在)
資産の部			
流動資産	28,918	31,005	29,326
固定資産	39,801	40,071	40,677
有形固定資産	32,452	32,122	32,436
無形固定資産	357	320	314
投資その他の資産	6,991	7,628	7,926
資産合計	68,719	71,076	70,003
負債の部			
流動負債	10,576	10,058	9,915
固定負債	1,961	1,848	1,977
負債合計	12,538	11,907	11,892
純資産の部			
株主資本	54,895	57,505	56,311
資本金	6,566	6,566	6,566
資本剰余金	7,302	7,416	7,405
利益剰余金	47,947	50,535	49,364
自己株式	△6,921	△7,013	△7,024
その他の包括利益累計額	1,286	1,605	1,799
その他有価証券評価差額金	1,403	1,746	1,953
退職給付に係る調整累計額	△116	△141	△153
新株予約権	—	58	—
純資産合計	56,181	59,169	58,110
負債純資産合計	68,719	71,076	70,003

四半期連結損益計算書 (単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	前 期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
売上高	28,593	29,276	58,718
売上原価	16,676	16,840	34,510
売上総利益	11,917	12,435	24,207
販売費及び一般管理費	9,533	10,022	19,234
営業利益	2,383	2,413	4,973
営業外収益	222	241	456
営業外費用	24	30	52
経常利益	2,582	2,624	5,377
特別利益	365	—	407
特別損失	4	130	45
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,944	2,493	5,739
法人税、住民税及び事業税	1,089	918	1,793
法人税等調整額	△141	△103	25
四半期(当期)純利益	1,996	1,678	3,920
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,996	1,678	3,920

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	前 期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,441	2,353	4,597
投資活動によるキャッシュ・フロー	△277	△727	△1,702
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,423	△459	△5,481
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△0	△1
現金及び現金同等物の増減額	△3,259	1,165	△2,588
現金及び現金同等物の期首残高	16,231	13,643	16,231
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	12,972	14,809	13,643

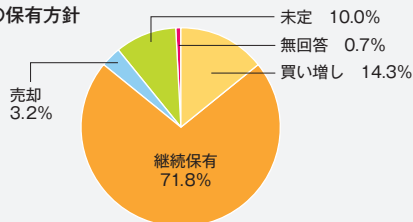


フジッコ株主アンケート結果

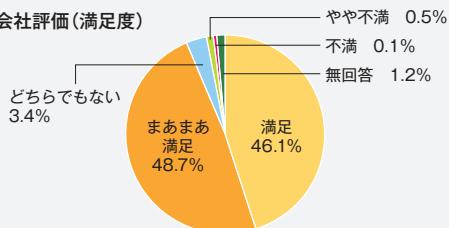
本年6月ご送付の株主優待品に同封いたしましたアンケートには、多数の株主様からご回答をいただき誠にありがとうございました。今回、そのアンケート結果の一部を掲載させていただきます。

実施日：2016年6月
 実施方法：2016年株主優待品に同封
 株主数：7,026名
 回収：2,517通 回収率35.8%

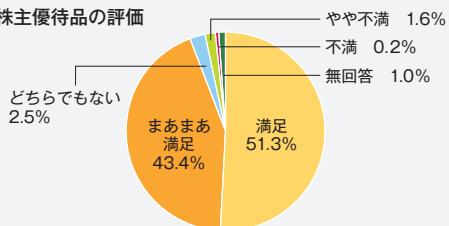
1. 今後の保有方針



2. 会社評価(満足度)



3. 株主優待品の評価



■会社の概要

(平成28年9月30日現在).....

社名	フジッコ株式会社
本社所在地	神戸市中央区港島中町6丁目13番地4
事業内容	惣菜製品、昆布製品、豆製品、ヨーグルト製品及びデザート製品等を主体とした食品加工業
創業	昭和35年11月7日
資本金	65億66百万円
従業員	2,157名
工場	兵庫3、埼玉1、千葉1、神奈川1、北海道1、鳥取1
物流センター	兵庫1、埼玉1
営業拠点	全国21拠点
連結子会社	●フジッコワイナリー株式会社 ●味富士株式会社

■取締役

(平成28年9月30日現在).....

代表取締役社長	福井	正一
専務取締役	奥平	武則
常務取締役	宗形	豊喜
常務取締役	籠谷	一徳
取締役	萩原	郁夫
取締役	山田	勝重
取締役	石田	吉隆
取締役	河内	茂
取締役	北島	幹也
社外取締役	渡邊	正太郎
取締役 監査等委員	山崎	章史
社外取締役 監査等委員	石田	昭
社外取締役 監査等委員	曳野	孝



■株式の状況 (平成28年9月30日現在)

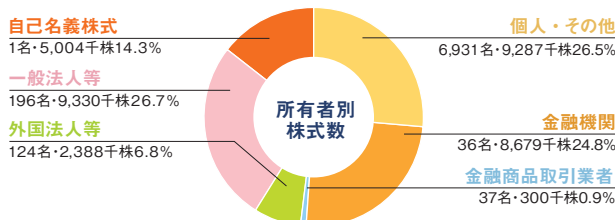
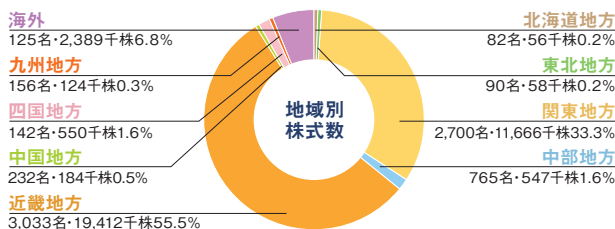
発行可能株式総数	108,000,000株
発行済株式の総数	34,991,521株
株主数	7,325名

■大株主の状況 (平成28年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社ミニマル興産	6,194	20.65
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,286	4.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,082	3.60
福井正一	1,015	3.38
株式会社三菱東京UFJ銀行	895	2.98
住友生命保険相互会社	854	2.84
田中久子	616	2.05
日本生命保険相互会社	550	1.83
株式会社三井住友銀行	494	1.65
繁畑友章	475	1.58

- (注) 1. 大株主上位10名を記載しております。
 2. 当社は、自己株式5,004,791株を保有しておりますが、上記には含めておりません。
 3. 持株比率は、自己株式5,004,791株を控除して計算しております。

■株式分布状況 (平成28年9月30日現在)



- (注)「金融商品取引業者」とは、「証券業」を含む金融商品取引業者を指し、従前の「証券会社」と同様の範囲となります。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.fujicco.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の連絡先にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

配当金について

当社定款の規定に基づき、平成28年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当金を支払います。

- | | |
|-----------|------------|
| 1 中間配当金 | 1株につき金17円 |
| 2 効力を生じる日 | 平成28年12月2日 |



この印刷は環境に優しい
植物油インキを使用しています。



食よく、バランスよく。



「新・日本型食生活」をめざして



フジッコ株式会社

神戸市中央区港島中町6丁目13番地4